



盛況水吹き地蔵祭り 三月二十日

〒 915-0823
福井県武生市本町 10-2
大 寶 寺
TEL/FAX (0778) 22-1682



参詣者の皆さんは、水を吹いてお堂の延焼を止めたと伝えられる水吹き地蔵尊の前で防火の誓いを新たにしました。

春のお彼岸の中日、この時期にしては、まずまずの好天に恵まれて第九回目の水吹き地蔵のお祭りが催されました。住職の導師のもと法要が行われたあと、防火に関するお話がありました。また、ことしは暖かいおそばと、甘いぜんざいがふるまわれました。



かつぶくのいい、ありがたいお地蔵様じゃのおー。
なんまんたーぶ、なんまんたーぶ。

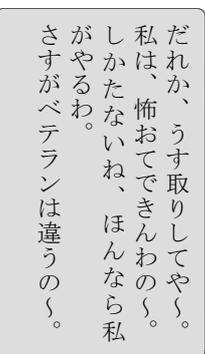


決まったぞ、スマッシュユ、「サー！」

二時から本堂において、桂三枝一門の桂三金さんの落語会がありました。三金さんの巧みな話術にご本尊の阿弥陀様の前で、笑い声の絶えない楽しいひと時を過ごしました。なお、今年具谷の法林寺、また、武生三、四班のお檀家様、ならびに大寶寺のお講さんのかたがたにお手伝いいただき、地蔵だんごやぜんざい、また、当日の役員さんのお昼のおにぎりの準備をしていただきました。お手伝いいただきました役員さん、また、ご参詣頂きました檀信徒の皆さま、この場をお借りしてお礼申し上げます。



あんた、おだんご作ったことあるんか。
いや、初めてやわ。
広らべつとーしたほうがよう蒸せるんにやるか。
棒にした方がいいぎ。



だれか、うす取りしてやろ。私は、怖おてできんわの。しかたないね、ほんなら私さすがベテランは違うの。



百個もおにぎり作るとたいへんやの。
ほんや。あら、海苔がたりんざ。
もつと買うといってもらんなあかんの。



親縁とは何ぞや？

大寶寺の山号は本堂正面の額にあるように親縁山といえます。寺報の親縁はこの山号を由来としています。さて、親縁の意味は何でしょうか。
法然上人のご法語第二十七の中にそのことが説かれています。現代語訳で紹介します。
善導大師は親縁について次のように説いている。
「人が阿彌陀佛を礼拝すれば、仏はこれを見給う。
人が念仏を唱えれば、仏これ聞き給う。
人が阿彌陀佛を念すれば、仏もまたその者を念じ給う。

このように阿彌陀佛のお働きと念仏行者の身口意とが一つになつて、仏と行者とはあたかも親子のような関係に結ばれているから、これを親縁という。
お墓参りやお寺参りの時には、まず、本堂の正面で、親である阿彌陀様への感謝の気持ちを表すために、南無阿彌陀佛を十回唱えましょう。
また、時間があれば寺の本堂の中で参拝していただくこともできます。本堂正面の鍵を開けますので、お気軽に寺のものにお声をかけて下さい。

